

## 東日本大震災支援活動

### 子どもたちの思いと天草のみかんを被災地へ

東日本大震災で被災した人たちを元気づけようと5月26日、市内44の小・中学生の児童・生徒が書いた手紙やメッセージと、本渡五和農協とあまくさ農協、市が用意した天草特産のみかん“あまくさ晩柑”10トンを、市議会・建設経済常任委員長のほか、両農協の職員や市職員11人が宮城県東松島市の市民に届けました。この日メンバーは、5班に分かれて各避難所や小学校、保育園を訪問。あまくさ晩柑を受け取った園児は、笑顔を見せていました。



▲あまくさ晩柑を手にする園児たち



▲活発な意見が交わされた協議会

## 天草市レジ袋削減推進協議会

### レジ袋の削減に向けて

5月24日、「第1回天草市レジ袋削減推進協議会」が、東浜町の天草コミュニティ防災センターで開かれました。同協議会は、ごみの減量や地球温暖化防止対策の一環として、市内で使用されるレジ袋の削減に向けた取り組みなどを協議するため、事業所や市民団体、行政など19団体が参加して設立。この日の初会合では、同協議会会長に明瀬実・NPO美しい天草づくりネットワーク理事長を選任したほか、今後の方針について意見が交わされました。

## 天草市健康フェスタ

### 健康づくりの大切さを知る

6月11日、天草中央保健福祉センターで、同19日、牛深総合体育館で「天草市健康フェスタ」が開催されました。これは市が、生活習慣病や歯科疾患の予防など、健康づくりのきっかけにする場として、毎年実施しているもの。

各会場には、歯の無料健診や健康相談コーナー、エアロバイクなどの運動器具が設置され、参加者は歯科医師や保健師、健康運動指導士などの指導を熱心に受けながら、自分の体の状態をチェックしていました。



▲健康相談をする参加者



▲災害対策本部設置訓練のようす

## 天草市総合防災訓練

### 防災意識の高揚と連携を図る

5月22日、「天草市総合防災訓練」を柘本総合グラウンドなどで実施し、市消防団員、地域住民など約400人が参加しました。訓練では、震度5強の地震が発生し、柘本町でも家屋の倒壊などの被害を受け、八代海には大津波警報が発表されたと想定。災害対策本部の設置や消火・救助などの訓練を行いました。また、今回は大津波の影響で避難勧告を受けた住民が、高台へ避難する「津波避難訓練」も初めて実施し、参加者は真剣に取り組んでいました。

## 「牛深ハイヤ記念館」開催中

牛深

### 牛深ハイヤ祭りの歴史を見に来て！

牛深ハイヤ保存会50周年記念事業委員会では、同保存会のこれまでの活動や歴代の牛深ハイヤ祭りのポスター、ハイヤの歴史資料などを展示する「牛深ハイヤ記念館」を、うしぶか海彩館で実施しています。5月27日には、二浦小学校の3・4年生9人が、総合的な学習の一環として同記念館を訪問。児童たちは、観光ボランティアガイドの説明を聞きながら、昔懐かしい写真などを熱心に鑑賞していました。なお、同記念館は来年3月まで開催されます。



▲展示物を熱心に見入る子どもたち



▲買い物客に赤飯を手渡すスタッフ

## 新和のかまや『はまぼう』が1周年

新和

### 皆さん、ぜひお立ち寄りください！

小宮地地区振興会では、地域振興活動の一環として、がね揚げやコロッケなどの惣菜を販売する「新和のかまや『はまぼう』」を、昨年5月から同地区内にある農産物直売所“しんわタやけ市場”内でスタートしています。6月9日には、開店1周年を記念して先着100人に祝いの赤飯がふるまわれるなど、多くの買い物客でにぎわいました。

なお、営業日・時間は、毎週木・金・土曜日の午前10時から正午まで。皆さん、ぜひお立ち寄りください。

## 柘本町社会教育学級開講式

柘本

### 豊かな人間性をはぐくもう

5月12日、「柘本町社会教育学級開講式」が柘本町福祉会館で開かれ、150人が参加しました。これは同町公民館が、生涯学習の推進を目的として、町内の青年団や婦人会、各種サークルなどの社会教育関係団体を対象に、毎年開催しているもの。同式では、まず各団体による活動紹介が行われた後、記念講演を実施。今回は、東日本大震災の被災地支援に派遣された市職員による、現地での支援活動の内容が報告され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲活動紹介を行う参加者

## 通学合宿

河浦

### 楽しい合宿から学ぶ助けあい

5月29日から6月3日まで、宮野河内公民館で「通学合宿」が行われ、宮野河内小学校の5・6年生12人が参加しました。これは宮野河内地区振興会が、子どもたちに“気づく・考える・行動する”ことの大切さを学んでもらおうと、毎年実施しているもの。子どもたちは、同公民館に寝泊りをして学校に通学したほか、いっしょに食事を作ったり、民家に「もらい湯」をしたりするなどの共同生活を体験。助けあう気持ちの大切さをあらためて学んでいました。



▲夕食を作る子どもたち